

高い鑄造技術とIoT・AI技術の導入による 生産マネジメントシステムの構築

昭和10年に名古屋市にて創業し、現在は「専門に徹し、変化に挑戦する。品質重視。人の和の尊重とクリーンファクトリーを目指す。」をスローガンに、トヨタ自動車(株)等の協力企業として、ダクタイル鑄鉄を主力に、自動車部品、建設用部品、工作機械部品等の鑄鉄鑄物素材から最終製品の機械加工仕上に至るまでの一貫した生産体制を構築し、重量品から軽量品まであらゆるニーズにフレキシブルに対応している。

●所在地	愛知県西尾市中畑町水荒井8番地	●設立	1935年
●電話/FAX	056-359-8181/056-359-4679	●資本金	1,000万円
●URL	http://www.sakabekogyo.jp	●従業員数	232人
●代表者	代表取締役 阪部 幸司		



多様な素材製造を可能とする最新鋭の鑄造設備及び技術の確立

鑄造方案設定時にCAE解析を活用し、三次元CAD/CAMを使用することにより、小型化・耐熱化・複雑化に必要な技術が蓄積され、設計・鑄造における高品質体制を構築している。鑄造設備においては、エネルギー効率が高い溶解設備と、高効率な抜粋造型機を有する造型ライン設備等の先端設備を導入することで、コストを低減し、生産効率を高め競合他社との差別化を図っている。



IoT機能を取入れた高い鑄造の技術力

IoT機能及びAIを活用した精密加工技術の確立

IoT機能及びAIを活用して人と情報をつなげている。「つながった」情報系ネットワークを管理(見える化ソリューション)することで、生産状況がリアルタイムに数値化され、そしてネック工程の見える化を実現する。異常や警告をアイコンと色で表示し、情報を見える化し、「加工品質の確保」「設備稼働率の向上」「生産性の向上」、につなげる生産マネジメントシステムを構築している。



IoT及びAIの導入

採用後の従業員定着に向けた福利厚生充実

地元からの若手従業員の雇用を積極的に行っており、採用後の定着および従業員一人ひとりが力を十分に発揮できるように福利厚生充実を図っている。具体的には、ゴルフ、温泉、釣りなどの社内クラブを整備することで、年齢・上下関係のない従業員同士のコミュニケーションの場を提供している。業務面においても「良いものは良い人によりつくられる」という信念に基づき、技術だけでなく良い人づくりにつながるよう丁寧なOJTや作業標準化に取り組んでいる。



活発な社内クラブ活動